

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 12 月 26 日 (2024.12.26)

【国際公開番号】 WO2024/100909
【出願番号】 特願 2024-557011 (P2024-557011)

【国際特許分類】
H 0 1 F 3 8 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)
F 0 2 P 1 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 F 3 8 / 1 2 G
H 0 1 F 3 8 / 1 2 L
H 0 1 F 3 8 / 1 2 K
F 0 2 P 1 5 / 0 0 3 0 3 A
F 0 2 P 1 5 / 0 0 3 0 3 G

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 12 月 6 日 (2024.12.6)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一次コイル、二次コイル、棒状の抵抗器、及び前記二次コイルの出力を前記抵抗器に電氣的に接続する高圧端子を備え、

前記高圧端子が、内周面と内部底面とを有し前記抵抗器の端を覆うキャップを備え、

前記内部底面と外部とを繋ぐ少なくとも一つの気道をさらに備える、内燃機関用の点火コイル。

30

【請求項 2】

前記キャップに覆われた位置での前記抵抗器が延びる方向に垂直な断面において、前記抵抗器の外周面と前記内周面とが、3 以上 6 以下の点で接触しており、

前記気道の一つが、前記外周面と前記内周面との隙間である、請求項 1 に記載の点火コイル。

【請求項 3】

前記断面において、前記抵抗器の外周面と前記キャップの内周面とが 3 点で接触している、請求項 2 に記載の点火コイル。

【請求項 4】

前記断面において、前記内周面が、前記抵抗器と点で接触する複数の接触辺と、前記抵抗器と接触しない複数の非接触辺とを有し、それぞれの接触辺が二つの非接触辺に挟まれている、請求項 2 又は 3 に記載の点火コイル。

40

【請求項 5】

前記それぞれの接触辺の長さが、隣接する前記非接触辺の長さよりも長い、請求項 4 に記載の点火コイル。

【請求項 6】

前記それぞれの接触辺の長さが、隣接する非接触線辺の長さの 1.5 倍以上 2.5 倍以下である、請求項 5 に記載の点火コイル。

【請求項 7】

前記断面において、前記キャップの内周面が多角形である、請求項 2 から 6 のいずれか

50

に記載の点火コイル。

【請求項 8】

前記内周面に前記内部底面側の端から延びる溝が設けられており、前記気道の一つが前記溝である、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の点火コイル。

【請求項 9】

前記溝の数が 2 であり、一方の溝と他方の溝とが対向する位置に設けられている、請求項 8 に記載の点火コイル。

【請求項 10】

前記溝の数が 3 であり、これらの溝が等間隔で設けられている、請求項 8 に記載の点火コイル。

10

【請求項 11】

前記キャップが前記内部底面から前記キャップの上面まで延びる孔を有し、前記気道の一つが前記孔である、請求項 1 から 10 のいずれかに記載の点火コイル。

【請求項 12】

前記孔の開口が、前記底面の中央に位置している、請求項 11 に記載の点火コイル。

【請求項 13】

前記孔の内径が、0.5 mm 以上 2.0 mm 以下である、請求項 11 又は 12 に記載の点火コイル。

20

30

40

50